

慢性リンパ性甲状腺炎

慢性リンパ性甲状腺炎 まんせいりんぱせいこうじょうせんえん

甲状腺被ばくによって現れる晩発性影響の一つで、被ばく後数年経ってから発症するが、受けた放射線の線量と発症率との定量的関係は明かでない。7歳で4.5 Gyの被曝をした集団が25年後の調査で、その約12%にこの症状が現れたという報告があり、これがおおよその見当と思われる。

<登録年月>

1998年01月
